

# 見学プログラム 自由自在



手すき体験



子守神社の自然の中で地層を見る



青谷上寺朗・青谷来渡と対面

● **あおや郷土館・子守神社**  
山陰ジオパークの構成要素の一つである。先人が地形の变化を利用して生活し、四〇〇年以上続く「夏泊の海女」の歴史は、豊臣秀吉との関連があったことに驚きをもった。また、つづが小さく笑っているよ

● **青谷かみじち史跡公園**  
歴史学習を深めるため、同じ青谷町内の県立施設「青谷かみじち史跡公園」に足を伸ばした。一〇〇体を超える弥生時代の人骨、道具、装飾品等が発見され、さらに研究で明らかになった「青谷弥生人」の高い技術や暮らし、都会的な街などについて、詳しく説明いただいたり、鮮やかな貫頭衣を身に着けたりした。児童は、興味を深め、次々と質問し、学びを深めることができた。  
(姫田恭江/久松小学校講師)

● **あおや和紙工房**  
鳥取県の伝統工芸品である因州和紙について原料の収穫から和紙ができるまでの工程を、実物を提示しながら詳細に説明していただいた。また、児童は紙すき体験を行い、伝承される技術の一端を実感した。児童は、因州和紙は、精度が高く上質で手漉き独特の温かみがあること、さらに、因州和紙は新しい可能性を秘め、インテリア等に利用されるなど活用方法も多様で魅力に満ちていることを知った。鳥取に残る伝統工芸に、児童は誇りを感じていた。

● **久松小学校6年生**  
うに鳴る青谷の「鳴り砂」は、全国でも珍しく面白いと感じたようだ。場所を移動して見学した子守神社では、火山の地層の重なりを利用して「社」が作られていること、龍の目の伝説が語り継がれていることなど、自然の中で説明を受けて見入っていた。自然の面白さやそれを守る必要感を感じていた。理科「大地のつくり」の学習へとつながった。

## 社会科 鳥取市の防災の歴史・鳥取の魅力発信

本校は、毎年のように、この博学連携を活用させていただき、社会科見学を実施しています。貴重な学びの機会を設けていただき、感謝しています。今年度も、やまびこ館と高砂屋の見学をさせていただきました。やまびこ館では、まず特別展示「とっとりのお宝おひろめ」の見学をしました。鳥取県文化財課の杉原さんに解説をしていただきました。

六年生が鳥取市歴史博物館「やまびこ館」を見学させていただきました。やまびこ館では、まず常設展を見学し、縄文時代から現代までの鳥取の歴史や文化を学びました。学芸員の方に解説をしていただきました。学びがふるさと鳥取の歴史について学ばるさと鳥取の歴史について学ばる。吉による鳥取城攻めについては模型を前に詳しく解説していただき、子どもたちも当時の様子を思い浮かべながら話を聞き、学習を深めていました。

昼食後には大型スクリーンでスライドを見ながら江戸時代の鳥取城下の様子について学びました。学芸員の方の説明をうなずいたり、驚いたりしながら聞き、「鳥

取つて昔は都会だったんだなあ。」とか「城下町の町名って名前のつけ方がおもしろいなあ。」など様々な感想を話してくれました。三〇分ほど館内を自由に見学させていたくうちに、子どもたちは自然に「か所に集まり遊び始めた。」と「二つのグルーミングに夢中になり、ああでもな、こどもでもない話し合いながら三種類全ての土器を完成させ、達成感に浸っていました。」

興じていました。それぞれがお金を三文ずつもつて鳥取の名所校区にある「松上神社」のマスもありました。「を回るといふころくで、ゴールは鳥取東照宮です。ゴール付近にはお金を徴収されるマスが多く設定されており、文字通り「無文」ゲームオーバーになってしまふ子が続出しました。が大変盛り上がりつつありました。今回の見学を通して、子どもたちは鳥取の歴史について多くのことを学ぶことができました。これまで知らなかった鳥取の歴史に興味を持ち、もっと深く知りたいと思うようになったようです。  
(倉光幸治/明治小学校教諭)

● **鳥取市歴史博物館 やまびこ館**  
〒680-0015 鳥取県鳥取市上町88  
TEL.0857-23-2140 FAX.0857-23-2149

● **鳥取市あおや和紙工房**  
〒689-0514 鳥取県鳥取市青谷町山根313  
TEL.0857-86-6060 FAX.0857-86-6061

● **鳥取市因幡万葉歴史館**  
〒680-0146 鳥取県鳥取市国府町町屋726  
TEL.0857-26-1780 FAX.0857-26-1781

● **鳥取城跡・仁風閣展示館**  
〒680-0011 鳥取県鳥取市東町2-121  
TEL.0857-26-3595 FAX.0857-22-4699

● **鳥取市あおや郷土館**  
〒689-0501 鳥取県鳥取市青谷町青谷2990-4  
TEL-FAX.0857-85-2351

● **鳥取市埋蔵文化財センター**  
〒680-0007 鳥取県鳥取市湯所町1丁目148-2  
TEL.0857-22-0366 FAX.0857-21-6096

◎開館時間：9時～17時 ◎休館日：月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌平日(高砂屋、あおや和紙工房は開館)、年末年始12/29～1/3  
公益財団法人 鳥取市文化財団 〒680-0831 鳥取市栄町655 TEL.0857-23-2410 FAX.0857-23-2420 E-mail info-center@tbz.or.jp HPIはこちら▶

## 鳥取市の防災の歴史・鳥取の魅力発信

展示解説風景

ミニ授業風景

バックヤード見学(エレベーター)風景

高砂屋見学風景

このように、博学連携見学プログラムは、充実しているだけでなく、バス利用支援もあり、今後活用させていただきます。ご要望がありましたら、お問い合わせください。  
(澤田明美/瑞穂小学校教諭)

● **城下町とつり交流館 高砂屋**  
〒680-0046 鳥取県鳥取市元大工町1  
TEL.0857-29-9024 FAX.0857-29-9039

● **鳥取市あおや郷土館**  
〒689-0501 鳥取県鳥取市青谷町青谷2990-4  
TEL-FAX.0857-85-2351

● **鳥取市埋蔵文化財センター**  
〒680-0007 鳥取県鳥取市湯所町1丁目148-2  
TEL.0857-22-0366 FAX.0857-21-6096

◎開館時間：9時～17時 ◎休館日：月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌平日(高砂屋、あおや和紙工房は開館)、年末年始12/29～1/3  
公益財団法人 鳥取市文化財団 〒680-0831 鳥取市栄町655 TEL.0857-23-2410 FAX.0857-23-2420 E-mail info-center@tbz.or.jp HPIはこちら▶

## 万葉集の歴史コラム

鳥取市国府町の斤集落には高さが三メートルほどの万葉歌碑が立っています。この歌碑は大正十一年(一九二二)に建てられたもので、現在は鳥取市指定文化財となっています。歌碑正面には奈良時代の貴族で万葉歌人でもある大伴家持が、因幡国庁において詠んだ歌が刻まれています(写真1)。すべて漢字で書かれているため、とても読みやすいですが「新しき年のはじめの初春の 今日ふる雪の いや重げ吉事」という歌です。意味は「新年の正月一日で、しかも立春でもある今日、降り積もるこの雪のように、たくさん良いことが重なってほしい」という内容です。今でも年賀状に「今年も良いことがたくさんありますように」といった意味の一文が書かれます。

歌碑の両側には漢文(中国で使われていた表記)で説明文があり、天平宝字三年(七五九)の正月一日に、部下である国や郡の役人たちが因幡国の庁舎に集めて新年の宴をひらいた時、国守(国の長官)であった家持が作った歌であることが分かります。鳥取県は当時、全国的に知られていました。

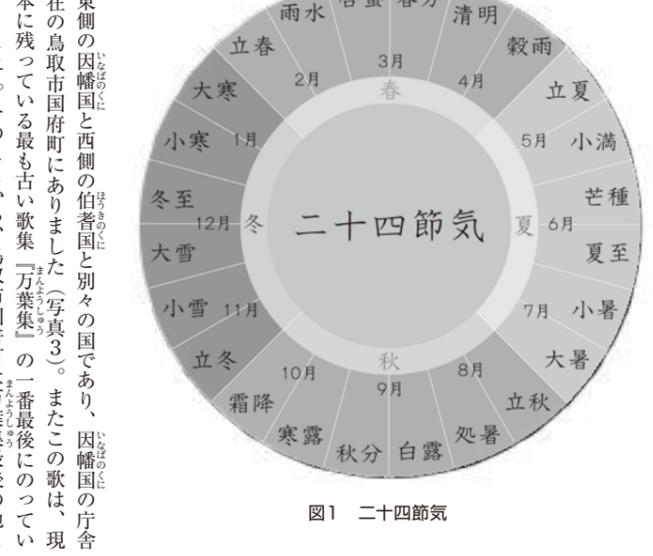
実はこの年、一九年に一回、旧暦の正月一日と二十四節気の立春が重なる「歳旦立春」という年でした。旧暦は太陽暦で、月の満ち欠けを基準とし、一年が約三五四日であるため、閏月という月を入れて調整します。二十四節気は太陽の動きを基準にしているため、旧暦とは暦にずれが出ます(図1)。そのため、旧暦正月一日と立春が同じ日になることが少なく、「歳旦立春」はたいへんおめでたいとされてきました。家持はおめでたい新年に降りつもる雪のように、良いことがたくさん積み重なってほしい、という願いを込めて歌にしています。

全て漢字で書かれている理由は、奈良時代には平仮名や片仮名がまだ無かったためです。そのため漢字の音や調をいろいろと組み合わせ「万葉仮名」という表記法を使っています。しかし読み方がとても難しかったので、次の時代(平安時代)になると歌が読めなくなりました。そのため家持の歌も「あたらしき」としはじめの…と読まれ、それが長い間、一般的な読み方になっていました。

しかし大正十三年(一九二四) 佐佐木信綱氏が陽明文庫の中から「琴歌譜」という平安時代初期頃の楽譜の写しを発見します。この楽譜は「万葉集」と同じ万葉仮名表記だったので、その中に「阿良多之支」と書かれている部分がありました。これは「あたらしき」と読む一字一音の表記であり、これ以降「新」の字は「万葉集」では「あたらしき」と読むようになりました。今でも「年があらたまる」という言い方は普通に使われています。国府町にある万葉歌碑は、「琴歌譜」が発見される前に建てられたものだったため、歌碑の横に刻まれている読みが「あたらしき」になっているのだと考えられます(写真2)。

「あたらしき」が「あたらしき」に変わるのには平安時代ですが、こういった音の並びが入れかわるのを「音位転換」といいます。子供がよくやる「音位転換」としては「潜水艦」→「せいせんかん」や「トウモロコシ」→「とうもろこし」などがあります。発音が難しい時、前後の音を入れ替えて言いやすいようにしゃべってしまうのです。

ただ、音が入れ替わったものが一般的になったものもあります。例えば花の「サザンカ」は、もともと「さんざか」と呼んでいました。「古歌」も元は「したつづみ」であり、「秋葉原」も「あきははら」だったようです。ふだん使っている日本語も、いろいろ調べていくと面白い発見がきっとあります。  
(鳥取市因幡万葉歴史館学芸員 鎌澤圭伸)



時、東側の因幡国と西側の伯耆国と別々の国であり、因幡国の庁舎は現在の鳥取市国府町にありました(写真3)。またこの歌は、現在日本に残っている最も古い歌集「万葉集」の一番最後にのっています。そのことから、鳥取市国府町は万葉集最後の地として、全国的に知られています。

天平寶字三年春正月一日於因幡國廳賜饗國郡司等之宴歌一首  
新年之始乃波都波流能家布敷流由伎能伊夜之家餘其騰  
右一首守大伴宿禰家持作之

あたらしきとしのはじめのはつはるの  
けふふるゆきの いやしけよこ

写真1 斤集落にある万葉歌碑  
写真2 万葉歌碑の横  
写真3 因幡国庁跡

◎開館時間：9時～17時 ◎休館日：月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌平日(高砂屋、あおや和紙工房は開館)、年末年始12/29～1/3  
公益財団法人 鳥取市文化財団 〒680-0831 鳥取市栄町655 TEL.0857-23-2410 FAX.0857-23-2420 E-mail info-center@tbz.or.jp HPIはこちら▶

## 見学プログラムを活用しよう!

鳥取市文化財団の各施設には、個性ある様々な見学プログラムが用意されています。それぞれが興味深い内容ですが、それらを組み合わせることで、より効果のある学習が期待できます。例えば、やまびこ館のプログラム④「鳥取のお殿さまと鳥取城、城下町」に城下町とつとり交流館高砂屋、鳥取城跡・仁風閣展示館のプログラムを組み合わせることで、鳥取のお城や城下町について深く知ることの出来る「城下町コース」になります。ほかにも組合せは自由自在です。学習内容に合わせて、ぜひ複数施設のプログラムを組み合わせることで、また、昼食の場所についてもご相談ください。(要予約・人数制限あり)

## 鳥取市歴史博物館 やまびこ館

展示やバックヤードなどを解説する館内見学、写真やスライド、実物資料を使ったミニ授業、館外を案内するミニ散策、クイズラリーなど、博物館内外で鳥取市の歴史を学習できるプログラムを用意しています。館内見学とミニ授業の2つを行うなどプログラムを組み合わせることもできます。下記プログラム以外でも、学習課題に合わせて対応しますので、お気軽にご相談ください。

### 組み合わせの例

- (1) ①展示見学(30分) + ⑦ミニ授業(30分) ……60分コース
- (2) ⑨ミニ散策(45分) + ⑩クイズラリー(45分) ……90分コース

### 博物館見学 ~探検やまびこ館!

- 場所** 常設展示室、特別展示室
- 時間** 30分~1時間(短縮・延長可)
- 内容** 解説を聞きながら常設展示や特別展示を見学します。ご希望の時代やテーマに合わせることもできます。



常設展示解説

### ① 常設展示見学コース

鳥取市の歴史を先史時代から現代まで通史的に学ぶことができます。

### ② 企画展示見学コース

期間限定の展示を通じて、鳥取の歴史を学ぶことができます。各展示については、年間行事予定表などをご参照ください。

### ③ バックヤード見学コース

普段は見ることのできないバックヤードを見学して、博物館の役割について学びます。



バックヤード見学



樽谿公園  
利用申込み先  
梅鯉庵 TEL.0857-20-1496



雨天時はやまびこ館研修室をご利用ください。

### ミニ授業 ~資料から鳥取の歴史を学ぼう!

- 場所** まなびの広場
- 時間** 30分程度(短縮・延長可)
- 内容** 実物の資料や写真などを通じて鳥取の歴史を学べる、学芸員の特別授業です。



ミニ授業  
「鳥取のお殿さまと鳥取城、城下町」

### ④ 鳥取のお殿さまと鳥取城、城下町

江戸時代の鳥取、特に殿さまやお城、城下町に関する内容です。  
**キーワード** 池田家、城下町、鳥取城、宮部継潤、亀井茲矩 etc

### ⑤ 戦国時代の鳥取(天正9年鳥取城攻め)

戦国時代の鳥取、特に鳥取城攻めや吉川経家に関する内容です。  
**キーワード** 戦国時代の鳥取、山名氏、吉川経家、天正9年の鳥取城攻め etc

### ⑥ 昔の暮らしと道具

先史から近代までの暮らしと道具に関する内容です。  
**キーワード** 農具、冷蔵庫、洗濯、料理 etc



これは何かな?

### ⑦ 鳥取と災害

鳥取の経験した災害について知る内容です。  
**キーワード** 地震、水害、火災 etc

### ⑧ 鳥取の人たちが経験した戦争

戦争と鳥取との関わりを通じて平和について考える内容です。  
**キーワード** 四十連隊、戦争遺跡 etc

### ⑨ 錦絵を見てみよう

やまびこ館にある錦絵から、江戸時代~明治時代の社会や文化について学ぶ内容です。  
**キーワード** 江戸時代、明治時代、浮世絵、庶民文化 etc



錦絵「太平記英勇伝 伊計田勝三郎信輝」(池田恒興)

### ミニ散策 ~博物館の外へ飛び出そう!

- 場所** 樽谿公園、鳥取東照宮
- 時間** 45分~(短縮・延長可)
- 内容** 公園と神社の歴史を知る、博物館外での学習プログラムです。



鳥取東照宮を散策

### ⑩ 樽谿公園と鳥取東照宮を歩こう

**キーワード** 東照宮、樽谿公園、池田光仲、屋形船、標準木 etc

### クイズラリー ~楽しく学ぼう!

### ⑪ やまびこ館クイズラリー

- 場所** 常設展示室、特別展示室ほか
- 時間** 30分~1時間(短縮・延長可)
- 内容** 展示を見学しながら、クイズに答え、鳥取の歴史を学んでいきます。



クイズラリー

## 鳥取市因幡万葉歴史館

### ⑫ 因幡国府の歴史・文化をさぐる

- 場所** 鳥取市因幡万葉歴史館
- 時間** 1時間程度
- 内容** 因幡国府で花ひらいた古代の文化や貴重な遺跡、麒麟獅子舞や因幡の傘踊りなど民俗文化の解説をします。



因幡の古代展示室

### ⑬ 万葉と神話の庭で万葉集をみつけよう!

- 場所** 鳥取市因幡万葉歴史館(万葉と神話の庭)
- 時間** 30分~1時間
- 内容** 万葉集に詠われた約50種類の植物が彩る回遊式庭園で、古代の人々が自然にこころを寄せて詠った歌を見つけ、万葉集の世界を体感します。



万葉と神話の庭

麒麟獅子頭(複製)



国府史跡ネットワーク案内広場  
雨天時は、別途ご相談ください。

# 見学プログラム

令和7年度も鳥取市文化財団各施設におまかせください!

## 高砂屋

### ⑭ 明治時代の商家の建物

- 場所** 城下町とつとり交流館 高砂屋
- 時間** 30分~1時間
- 内容** 明治時代の商家の建物と蔵を見学して、建物のつくりと当時の鳥取の城下町の様子について学ぶことができます。



登録有形文化財の建物の歴史を学習



雨天時、お弁当だけの利用も可能です。

## 鳥取市あおや和紙工房

### ⑮ 和紙の里でつくる、世界にひとつだけの和紙

- 場所** 鳥取市あおや和紙工房
- 時間** 1時間
- 内容** 伝統工芸品である因州和紙について技術、歴史などを学ぶことができます。さらに、自分でデザインした手すき和紙づくりを体験することもできます。  
※一度に制作体験できる人数は20名程度です。それ以上の人数の場合は、青谷町内の他の施設見学と合わせて交代で利用することをお勧めします。



紙すきランプシェード



体験によるオリジナル和紙



多目的ホールでお弁当が食べられます。

- A3 1枚 ……500円(20名以上400円)
- A4 1枚 ……400円(20名以上320円)
- ハガキ1枚 ……300円(20名以上240円)
- A4 ミニランプ(LED) ……1,500円(20名以上1,200円)

## 鳥取城跡・仁風閣展示館

### ⑯ 江戸時代の大手中ノ御門と宝隆院庭園/明治時代の仁風閣

- 場所** 大手門中ノ御門付近~鳥取城跡・仁風閣展示館
- 時間** 30分~60分
- 内容** 令和7年4月に完成する江戸時代の復元建物である中ノ御門や宝隆院庭園と、文化財保存修理工事中の明治時代の洋館・仁風閣について楽しく学ぶことができます。



鳥取城跡大手門中ノ御門



鳥取城跡・仁風閣 展示館

## 鳥取市あおや郷土館

鳥取市あおや郷土館は山陰海岸ジオパークの拠点施設です。山陰海岸ジオパークや鳥取市西地域のジオサイトについて、ロビーの常設展示コーナーで映像や紹介パネルをご覧くださいながら解説します。また、郷土館から少し足を伸ばせば、実際にジオサイトの魅力を肌で感じることができる場所が広がっています。鳥取市あおや郷土館を見学した後に、実際に現地へ行って解説することもできますので、ご相談ください。

### ⑰ 館内見学のみ

- 場所** 鳥取市あおや郷土館 山陰海岸ジオパーク展示コーナー(ロビー)
- 時間** 30分程度
- 内容** 山陰海岸ジオパークの概要、鳥取市西地域(鳥取市気高町・鹿野町・青谷町)のジオサイト、青谷町夏泊の海女、鳴り砂などについて学習できます。  
※見学時に企画展開催中の場合は、あわせて展示室をご覧ください。



あおや郷土館ジオパークコーナー

### 館内見学+ジオサイト探検

### ⑱ 青谷まちなか探検コース

- 場所** 鳥取市あおや郷土館+青谷のまちなか
- 時間** 館内見学30分+ジオサイト探検1時間(徒歩)
- 内容** 青谷の古い港や町並み、暮後に活躍した青谷の石工・川六が制作した石造物を実際に見ながら解説します。



潮津神社狛犬



古い町並み

### ⑲ 青谷海岸・夏泊探検コース

- 場所** 鳥取市あおや郷土館+青谷海岸・夏泊海岸・夏泊神社など
- 時間** 館内見学30分+ジオサイト探検1時間(バス移動含む)
- 内容** 鳴り砂や夏泊の海女漁について学び、実際に鳴り砂の浜である青谷海岸で浜を歩いたり、風光明媚な夏泊海岸やそこにある奇岩の獅子岩を見たり、石工・川六が制作した夏泊神社鳥居や狛犬を見学します。



青谷海岸



夏泊海岸

### ⑳ 子守神社・不動滝コース

- 場所** 鳥取市あおや郷土館+子守神社・不動滝など
- 時間** 館内見学30分+ジオサイト探検1~2時間(バス移動含む)
- 内容** 子守神社(青谷町八葉寺)や不動滝(青谷町田原谷)について、その歴史や自然について学び、現地を見学します。



子守神社



不動滝

### バス利用支援事業について(お知らせ)

(公財)鳥取市文化財団では博学連携推進事業の一環として、学校から財団施設までの移動手段としてこれまでバス利用の支援を行ってまいりました。この事業は当財団が自主事業として行ってきたものですが、学校の皆様からも好評で大変よくご利用いただき、今日に至りました。しかしながら近年の物価上昇をはじめとした諸事情により、独自予算であるが故、現在事業の見直しの必要が生じており、非常に残念ではありますが、本事業を一旦休止せざるを得ないこととなりました。今後は関係機関とも協議を重ね、また新たな事業の可能性を模索して行くこととしています。本支援事業は一旦幕を閉じますが、博物館と学校が連携・協力し合いながら子供たちの教育を推し進めていくことは必要と考えています。なお、各施設のご利用につきましては、これまで以上にそれぞれのスタッフがご案内させていただきます。今回ご紹介させていただいておりますプログラムテーマ以外につきましても博学の連携として可能な限り対応させていただきますので今後とも各施設のご利用を改めましてお願い申し上げます。(公益財団法人鳥取市文化財団)